NIE実践報告

1．タイトル：**「新聞」の情報を活用し、自分の考えをまとめ、ポスターセッションをしよう**

2．学校名

群馬県太田市立生品中学校

3．実践者名（代表者名）

松橋美智子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　36人（4クラス　計144人）

6．単元（本時の学習課題）名

メディア「世界の子どもたち」（書く　~　根拠をあげて述べる~　）

7．目標(狙い)

新聞から情報を取捨選択し、自分の伝えたい事柄を明確にし、ポスターセッションを行う。また意見交換によって考えを深めさせると同時に、論理展開や材料の活用の仕方等、今後の表現力向上への意欲を持たせる。

8．評価の視点

新聞からの情報を活用し、相手に自分の考えをわかりやすく述べることができたか。また他の発表を聞き、より考えを深めることができたか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「世界の子どもたち」と「こみち」（教科書教材：教育図書出版）[国語：6時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①教材の情報から、「世界の子どもたち」の現状を知り、興味・関心を抱かせる。と同時に「こみち」を参考として、「自分達の暮らしについて考える~　今の日本は幸せか~　という課題を理解さる。（1時間）
②課題について、主に日本の「今」を映し出す「新聞」から必要な情報を収集し、考えをまとめ、それを相手にわかりやすく伝えられるよう、文の構成（ナンバリング・ラベリング・双括法）を意識してポターセッションの準備をする。（3時間）
③ポスターセッションで自分の考え伝える。また、他の発表を聞き、より考えを深める。（1時間）
④前時の活動を通して、考えが深まったことや発表の仕方等についてまとめ、今後への意欲を持たせる。（1時間）

（留意点）
- **ポスターセッション用のパネルは画用紙3枚を貼り付けたもので、記事の掲示方法を工夫させた。**
- **資料の収集は新聞以外にインターネットや図書資料も活用してもよいことにした。また、発表のための準備シートもパネルの裏面に貼り付けさせ、発表がスムーズにいくようにした。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「新聞の記事を使って考えをまとめてこんな風に発表するなんて、考えもしなかった。おもしろかった」というのが多くの生徒の感想であった。その上、新たな記事等を追加して論議したいというので、発展的な学習としてディベートを行うことになるほどだった。

12．成果と課題

ポスターセッションで意見交換をしたが、生徒は1時間の授業では飽きたらず、もっと考えを深めたいという強い要望が出たため、同じテーマで「ディベート」を行うことした。生徒はすでに相手の主張も聞いているため、論の展開を予測し、様々な資料や新たな新聞記事などで準備してディベートに臨んだ。そのため、反対尋問や反駁で論議が白熱し、大変活気に満ちた授業となった。その結果、新聞を活用したことにより現状を様々な角度から見つめ、考えを深めることが出来た。また、「ポスターセッションやディベートを学ぶ」という点に置いても、大変有効であった。